

## インターネットを活用した「高度教育基盤」による 教育支援サービスの提供について

大学 e ラーニング協議会

関係者 各位

去る 4 月 22 日に報道発表及び東北地方の大学へご案内しましたとおり、これまで大学 e ラーニング協議会のホームページにおいて、e ラーニングのサンプル体験版をご利用いただいておりますが、5 月 20 日より、本格的な教育支援を開始させていただく運びとなりましたので、改めてご案内をさせていただきます。

### 1.背景

東日本大震災により、多くの大学等が被災し、計画停電や交通機関の制限等により、間接的な影響を多数の大学が受けることが明らかになる中で、開講時期の遅れや授業回数の確保が困難になることが懸念されております。このような状況に対し、特別な準備等することなく「メディアを活用した授業（e ラーニングなど）」を容易に活用していただく仕組みを構築しご提供する事で、土日を含む授業開講日以外での柔軟な授業運営（補講対策）や、多くの関係大学が提供する教育素材の利活用を通じた新たな教育実践を図って頂き、間接的・直接的に震災の影響を受けた大学の皆様のお役に少しでも立てればと考えております。

### 2.本取組みの特徴

本取組では、大学 e ラーニング協議会が窓口となり、協議会加盟の大学が持つ「授業で利活用可能な e ラーニングコンテンツ」を、「高度教育基盤(クラウド上の e ラーニングシステム)」上で集約致しました。利用を希望される教員の皆様は、こうした教材を基盤教材的に各自の授業の中でお使い頂くことが可能です。さらに、クラウド上のシステムも自由にお使い頂けますので、先生一人一人の授業スタイルに合わせた授業実践も可能です。なお、講義単位での学生のアカウントも配布致しますので、一人一人の学習管理を通じた授業の置き換えや補講の実施となるように配慮しております。

具体的には以下のとおりです。

■文理系分野合せて 50 以上の科目、500 以上の教材からなるコンテンツ群（5 月 17 日時点）

■各大学の用途に沿ったコンテンツの活用対応

①「単位認定を想定した授業 15 回としての使用 ②対面授業での部分的または教材としての使用」を基本とし、多様なニーズへの対応に備えています。例えば 15 回授業のうち、10 回は対面授業が可能だが、残り 5 回は開講が困難・・・このうち 5 回を e ラーニングでの開講とすることも可能です。また、学生に対して教材を指定し、宿題として自学自習をするように促すことも可能です。担当教員は学生個々の学習状況を「高度教育基盤」上でデータとして把握することもできます。

■ 「マルチメディアを活用した授業(e ラーニング)」・「e ラーニング利用」に関するアドバイス等の支援

以上のメニューをご用意しています。既に e ラーニングを授業に取り入れておられる先生だけではなく、全く初めての先生に対しても、協議会加盟大学が持つ運用ノウハウを丁寧にご提供することで、容易な活用を実現いたします。是非お気軽にお問い合わせください。

### 3.お申込み受付の開始時期

2011 年 5 月 20 日から開始します。

### 4.問合せ先

大学 e ラーニング協議会

事務局 千歳科学技術大学

教育連携推進課 担当：大西，菊田

E-mail: [ueLA-office@ueLA.org](mailto:ueLA-office@ueLA.org) Phone: 0123-27-6044 Fax: 0123-27-6007